

# Future Challenge Project 2025

団体名 ● 地域スポーツマネジメントゼミナール、新谷ゼミナール

代表者名 ● 小杉ひとみ(人間科学部スポーツ学科・3年)、西村貴之(人間科学部スポーツ学科・教授)

## はじめに(背景・目的・目標)

日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)は社会課題や共通のテーマ(教育、ダイバーシティ、まちづくり、健康、世代間交流など)に地域住民、企業や団体、自治体、学校などとJクラブが連携して取組む社会連携活動(通称「シャレン!」)を推進している。本学スポーツ学科では、石川県をホームタウンとするJクラブ「ツエーゲン金沢」及び多数のステークホルダーとの協働により、2020年度より「シャレン!」の取組みに参画している。

2025年度は障がいの有無に関わらず、誰もが手を取りあい共通のスポーツを通じて小さな挑戦を続けられるまちづくりを目指す「Future Challenge Project2025」を実施した。「人と人とのつながり」をテーマに掲げ、本学よりスポーツ学科の地域スポーツマネジメントゼミナールと新谷ゼミが参画した。

具体的には、ツエーゲン金沢という共通の話題を一步踏み出すきっかけとし、障がいの有無に関わらず誰もが気軽にスタジアムへ足を運べる環境を創ることを目指すとともに、お互いに「ありがとう」と伝え合える関係性を構築し、スタジアムが障がいの有無を超えて共鳴しあえる仲間がいる場所となることを目的とした。

## 活動内容

日程：2025年11月16日(日)明治安田J3リーグ

第36節 vs 栃木 SC 戦

場所：金沢ゴーゴーカレースタジアム

参加：本学学生27名 / 実行委員会15名

来場観戦者数6,911名

内容：①視覚障がい者向けサッカー観戦会

②障がいに関する体験・啓発ブースの出展

③ピッチ内ステージ & 場外ステージ

④ウォーキングフットボール体験会

以上の企画に関して、プロジェクト主担当の学生4名が実行委員として参画し、それ以外の学生はイベント当日の介添えや運営サポートスタッフとして参加した。



啓発ブース (はぐくみ菓子)

## 成果、結果の考察

今年は昨年 비해、障がいの幅を広げて体験・啓発ブースを展開した。「ブラインドキック体験」(227名参加)や「はぐくみ菓子」の完売、手話歌の披露等を通じ、多くの方に障がい理解についての啓発を行うことができた。運営学生へのアンケートでは、「障がいのある方のできる事が想像していたよりも多く、自分たちと変わらないと思った。」といった回答もあり、本プロジェクトが関係者にとって障がいについて深く考えるきっかけを提供していることを確認できた。

## 今後の課題、展望

今後も継続した取り組みを行い、FCP という特別な取り組みを実施しなくても、障がいの有無に関わらず、誰もが安心してスタジアムに来場できる環境を当たり前ものにしていく。そして、スポーツを通じた共生社会の実現、誰もが自分らしく暮らし続けられるまちづくりを目指し続けたい。



啓発ブース (ブラインドキック体験)